

動画報告に不参加

市議会6月定例会に前市議会議員から「議会基本条例第4条第1項等の改正を求める陳情」が提出されました。

陳情の趣旨は、現在の条例で「議員は、個人又は複数の議員で会派を結成する」となっている「個人又は」を削除し、一人では「会派」として認めないようにする内容でした。この陳情を受けて東村山市議会は、2年ごとに行っている基本条例の検証作業(次回からは4年ごと)の中で議論することとされました。

この陳情は、議会運営は全会派で決めるというこれまでの東村山市議会の議論の経緯を全く無視しています。

日本共産党市議団は、現在の一人会派が参加できない議会運営委員会で審査したことに対し、強く抗議してきました。

また、議会運営委員会や広報広聴委員会に一人会派が参加できていない現状を改善し、すべての会派が参加できるように改善することも繰り返し求めてきましたが、ひとり会派を除いたまま議会運営委員会で審査を行い、自民・公明のみの賛成多数で採択となりました。

党市議団は、このような議会運営はこれ以上見過ごすことはできません。そのため、議会報告の会派ごとの決算動画への参加を見送ることとしました。少数の意見を尊重し、民主的な議会に改革していくために、これからも取り組んでいきます。

不参加を伝える文書を議長に提出

市議会9月定例会の報告をするための動画撮影の件について

日本共産党市議団は

- ① 議会報告部分の動画については、前回同様(※)会派として参加しないこと
- ② 決算報告については、会派としての意見をのべるために参加することとしました。

しかし、議会基本条例の検証と課題の整理をする中で、看過できない状態になっていること、広報広聴委員会への全会派の参加について、申し入れを行っても改善が見られないことなどをふまえ、今後、動画撮影について参加を見送ることといたしました。また、対面での議会報告会が開催可能になった場合に、状況が改善していなければ同様の対応を取らせていただくことを申し添えます。

理由として、

- ① 広報広聴については、基本条例に基づいて「議会として」行っていることをふまれば、すべての会派が参加したうえで検討すべきであることを申し入れたにもかかわらず、依然として「草の根」と「立憲民主」の2会派が参加しない状態で進められていること。
- ② 議会基本条例の検証の中で一人会派を参加させずに議論を進め、4条の改正についても多数決できめるという前代未聞の行為を行った上、課題整理の段階になっても一人会派を参加させず、意見を聞くこともなく議論を開始したこと。

「広報広聴への参加と基本条例とは切り離して考えるべき」との意見が出ていることを伺っていますが、広報広聴への取組みは基本条例で規定されている内容であり、その基本条例の検証・課題整理の中での状況と、現在の議会運営の在り方の中での問題であると考えており、切り離して考えることは到底できません。

広報広聴委員会へ任命されているさとうと浅見については、議長からの任命でること、広報広聴委員会は報告会(報告)だけでなく、議会だよりの編集も行っていることから辞任することは考えておりません。

議会としての広報広聴機能については「不要」との考えは持っておらず、全会派が参加し、全会派が納得する形で進められるよう、今後も日本共産党として意見を述べてまいります。

(※)全会派での話し合いの場が設けられずに動画公開に踏み切ったため、議会報告動画には不参加。



ご相談お待ちしております
困った時は
共産党に相談しよう

渡辺 みのる 070-2177-7629
山口 みよ 080-5499-3184
さとう 直子 090-3521-0032
浅見 みどり 080-3086-2422
山田 たか子 090-5824-7597



私たちの公共施設は儲けるためのものじゃない!!

通勤・通学・買い物…くらしと共にある市営駐輪場

〈有料化となる八坂駅前駐輪場〉



有料化となる八坂駅前駐輪場を含めた市内全18か所の市営駐輪場が、2021年度から、一事業者による一括運営管理となります。事業者は議会を通さず、駐輪場毎に利用料金設定(現在の2倍が上限。引き下げ可)ができます。

9月議会では選定事業者の認定可否と同時に料金や事業等が提案され、自公等の賛成多数で決定しました。

公的サービスの公平性とは?

提案されている「2時間以内駐輪無料」は、放置自転車対策に効果があると考えられます。利用者が必要なサービスを受けられることが、本来の公的サービスです。けれども、事業者の提案は「駅から近い人気駐輪場は料金を上げ、駅から離れた駐輪場は値下げする」ものです。しかも障がい者や学生にまで適用されます。

これはまさに、福祉の視点が持たない営利を目的とする企業の考え方そのものです。

儲ければ何でもありの事業者提案!

も食堂施設の支援」といった駐輪事業以外の提案もしています。その理由は、市が付加価値提案を求めるプロポーザルという手法で事業者を選ぶためです。

日本共産党市議団は反対

「選定事業者ありき」とも受け取れかねず、この手法は行政による市民・議会軽視とも言える手荒さです。市民から負託された行政の監視役として認める訳にはいかず、私たちは反対しました。

市民がちゃんと安心価格で停められる市営駐輪場を
料金値上げ、八坂駅の有料化には反対

あくまで提案であり未確定

【事業者が提案した2022年4月からの自転車の利用料金案】

値上げ予定の駐輪場	1か月定期利用区分	現在料金	新料金案
★久米川駅北口地下・第1 ★東村山駅東口第1 ★東村山駅西口地下 ★秋津駅第2	一般	2000円	2200円～3200円
★新秋津駅第1・第2・第3 ★萩山駅北口	学生 心身障がい者	1500円	学生 身体障がい者 1700円～2700円

- ① 利用料金や事業の詳細等は未確定
- ② 議会による事業者の承認後、協議や協定で詳細を詰めていく
- ③ 7年間の委託期間を事業内容次第で13年間に延長する可能性があることが答弁で明らかに!
「良い提案をしているから」との理由ですが、市の事業者選定には不確定要素が多すぎます。

発行：日本共産党市議団NEWS
2020年冬号
発行 日本共産党東村山市議団
連絡先：東村山市本町3-6-12
TEL：042-393-4313

日本共産党 Japanese Communist Party
東村山市議団NEWS